

報道関係各位

武蔵野美術大学と神山まると高専が連携協定を締結 —アート・デザインとテクノロジーを軸とした教育連携を開始—



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市、学長：樺山祐和、以下 本学）と学校法人神山学園が設置する神山まると高等専門学校（徳島県名西郡神山町、校長：五十棲浩二、以下 神山まると高専）は、2026 年 10 月 28 日付で「連携に関する協定」を締結しました。なお、神山まると高専が美術系大学と組織的な連携協定を締結するのは初めての取り組みとなります。

この協定に基づき、両校は「アート・デザイン」と「テクノロジー」を横断する教育プログラムの共同実施、教職員・学生の交流、進学接続に関する連携などを進め、社会課題の解決と新たな価値を創造できる人材育成を推進していきます。

【ポイント】

- ・ 「テクノロジー×デザイン×起業家精神」を掲げる神山まると高専と、「アート・デザインによる社会価値創造」を推進する武蔵野美術大学が連携し、両校の教育・研究の特色を生かした連携の可能性を検討します。
- ・ 本学はかつて神山町をフィールドに造形ワークショップ等を展開してきた実績があり、そうした地域での教育実践の経験も背景の一つとして、今回の連携に至りました。

【協定に至った背景・目的】

本学では、これまで熊本県立熊本高等学校との高大連携をはじめ、高校生を対象とした教育プログラムや探究活動支援を通じて、美術・デザインの学びに触れる機会を提供してきました。今後も本学の教育研究活動との親和性が高い高校・高専との連携を進め、その学びが社会課題の解決や新たな価値の創造につながる機会を広げていく方針です。

神山まると高専が掲げる「テクノロジー×デザイン×起業家精神」による人材育成は、本学が推進する産官学連携・スタートアップ創出支援・社会実装型教育との親和性が高く、市ヶ谷キャンパスにおける共創拠点形成の考え方とも共鳴します。学生や教職員の交流、共同プロジェクト等を通じて、双方の教育資源を活用した新たな学びの創出が期待されます。

また本学は、かつて神山町をフィールドとして芸術文化学科を中心に地域住民と連携した造形ワークショップや地域実践型教育活動を展開してきた経緯があります。今回の連携は、これまで培ってきた地域との信頼関係や教育実践の蓄積を基盤として、さらに発展させるものです。

【神山まると高専について】

神山まると高等専門学校は、徳島県神山町に2023年に開校した私立高等専門学校です。「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育成することを教育理念とし、テクノロジー・デザイン・起業家精神を融合した独自のカリキュラムを展開しています。全国から多様な学生が集まる新しいタイプの高等教育機関として、その教育カリキュラムや学校運営が広く注目されています。企業や地域との実践的なプロジェクトを教育の中心に据え、デジタル技術と創造性を活用した課題解決型教育を推進しています。

【連携事項】

大学及び高専は、次に掲げる事項について連携及び協力を行います。

- (1) アート・デザイン及びテクノロジーをテーマとしたプロジェクト型学習の共同実施
- (2) 教育プログラム及びカリキュラムに関する定期的な情報交換並びに教職員交流
- (3) 大学教員による高専の学生を対象とした特別講義の実施
- (4) 高専の学生を対象とした大学体験プログラムの実施
- (5) その他大学及び高専が協議の上、書面により合意した事項

【コメント】

■武蔵野美術大学 学長 樺山祐和



近年、社会の変化が加速するなか、テクノロジーと創造性を横断的に活用し、新たな価値を創出できる人材への期待が高まっています。

本学は、アート・デザインの造形教育を基盤として、社会実装やスタートアップ創出支援など、多様な教育・研究活動に取り組んできました。

神山まると高専が掲げる、テクノロジー、デザイン、起業家精神を融合した教育理念は、本学の目指す方向性とも深く響き合うものです。

本協定を通じて双方の強みを生かし、これからの社会を切り拓く創造的人材の育成と新たな価値創出につなげていきたいと考えています。

■神山まると高等専門学校 校長 五十棲浩二



武蔵野美術大学との連携を大変嬉しく思います。本校の「テクノロジー・デザイン・起業家精神」を軸とする学びと、武蔵野美術大学の豊かな表現や創造の知見が出会い、両校の学生の視野と挑戦の可能性が広がることを期待しています。互いの強みを生かし、社会に新たな価値を生み出す学びを、ともににつくっていききたいと考えています。

神山まると高専について

神山まると高専は、徳島県神山町に 2023 年 4 月に開校した 5 年制の私立高等専門学校です。「テクノロジー×デザイン×起業家精神」を教育の土台としながら、神山という地に根ざし、社会を動かす人材「モノをつくる力で、コトを起こす人」の育成を目指しています。

神山まると高専 web サイト：<https://kamiyama.ac.jp/>

武蔵野美術大学について



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

2029 年に 100 周年を迎える武蔵野美術大学は、1929 年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の 2 学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する 12 学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また 70 年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は 7 万 7,000 人に上ります。

造形活動を通じて身に付き、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉
武蔵野美術大学 連携共創チーム
social@musabi.ac.jp